

- 生活支援 見守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

41 高齢者お出かけサポート事業『でかけ隊』による買い物支援

大崎町 保健福祉課
大崎町社会福祉協議会



地域の概要



大隅半島に位置する大崎町は、北は山間部、南は志布志湾に面しており、自然豊かな町である。スーパー等の商業施設が少ないため、車がないと不便な地域もある。

人口：11,848人 高齢化率：41.4%
(令和7年3月末現在)



取組のきっかけ

買い物困難者や免許返納された高齢者が増え、外出する機会が減ることから、町の所有する福祉バスの空いた時間を利用し、買い物や施設見学など高齢者等の外出する機会を増やすことで介護予防、健康増進につながると考え地域の高齢者等に声掛けし実施に至った。

取組の目的

- 買物困難者への支援
- 交通弱者への支援
- 交流のない方へ地域の集いの場（サロン等）への参加呼びかけ

これまでの経緯

年・月	出来事
令和2年2月	福祉バスの空いた時間を利用し、買物支援等の支援ができないか検討 行政と打合せ（福祉バスの運行状況など）・活動保険加入・町内外の施設見学相談
令和2年3月	集いの場へ訪問しアンケート調査、周知（申し込み開始）
4月	実施予定だったがコロナウイルス感染症拡大防止のため見合わせ
6月	6/9より「でかけ隊」活動開始。当日は出発式を行い、報道機関5社が同行
7月	広報誌掲載し周知
令和4年4月	新型コロナ感染症拡大により休止
令和4年6月	感染症予防対策しながら再開
令和4年7月	広報誌掲載し周知（コロナ感染予防として活動時間短縮の案内）
令和7年	活動継続中

活動の概要

町の福祉バスを利用し外出する機会を提供し、買い物や施設見学などで介護予防や健康増進を図ることを目的とした事業。

- 対象者は、町内に居住する65歳以上の地域住民グループやその支援者等
- 活動時間は2～3時間（行き帰り含む）
- 運転手は、町の職員。社協職員1名が同乗する。
- 利用回数は、年間2回まで。利用人数は、1グループあたり5名～20名まで
- 利用料は無料で、運行日は福祉バスの空いている日となる。
- 活動に関わった団体等
生活支援コーディネーター（SC）
保健福祉課、町内外の事業所

でかけ隊 行程表の例

【出発日】令和7年5月14日（水）【人数】12名

自治公民館 発	9:30	
	↓	移動30分
久保醸造 視察	10:00	視察60分
	↓	移動5分
神徳稲荷 参拝	11:05	参拝20分
	↓	移動15分
どっ菜市场 買物	11:35	買物30分
	↓	移動20分
自治公民館 着	12:30	

取組における行政担当者●生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕 〔SCとしての役割〕

- 福祉バスの手配・運転手確保
- SCとの連携
- サロン等未加入者への声掛け
- 広報誌による周知または集いの場へ訪問、聞き取り
- でかけ隊の見学場所の提案



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 90代男性が、でかけ隊参加をきっかけにサロンにも加入された。
- 茶話会だけのサロンが、でかけ隊で自分たちで好きなお弁当を購入し、みんなで公民館で食事会をした。

〔課題〕

- 利用される集落の偏り（毎年同じ集落からの依頼）
- バスの乗降問題
- 集落外の買い物困難者とのマッチング